

2005 (平成 17) 年 7 月 1 日 第 19 号

発行：(福) 十字の園本部署務局
理事長 平井 章

住所：〒431-1304
静岡県浜松市細江町中川 7220-11
tel 053-436-9535
fax 053-437-1352

社会福祉法人 十字の園

ぶどうの木

(ヨハネ福音書 15 章)

関
心

松崎 十字の園
施設長

三條 洋二



愛の奉仕の業を行ったマザー・テレサは、「愛の反対語は憎悪ではありません。愛の反対語は無関心です」と言われた。愛の反対語と思われる「憎む」、「嫌う」、「嫉妬」、「執着」、「悪」等のマイナスイメージの語彙でさえ人との係わり合いの姿が見える。言葉遊びではないが、では無関心の反対語は愛かというところではない。関心は愛の始まりであろう。

イエスは、小さなことにも関心を持って下さった。『女が近寄って来て、後ろからイエスの服の房に触れた。「この方の服に触れさえすれば、治してもらえる」と思ったからである。イエスは振り向いて、彼女を見ながら言われた。「娘よ、元気になりなさい。あなたの信仰があなたを救った。」(マタイ 9・20~22)』イエスは、歩きながらも、女が自分の服の房に触れたことを見逃さなかった。そして振り向かれた。

人々の生活、社会の出来事に無関心であってはいけない。日常に流されやすい私達であっても心に留めたこと、関心を持ったことに、振り返る努力が必要なのではないだろうか。

社会福祉法人 十字の園における 個人情報保護法の基本方針と使用目的

4月1日より個人情報保護法が施行され、介護保険施設についても適用されることになりました。当法人の基本方針と使用目的を公表します。なお、全職員からこれを遵守する旨の誓約書を取っています。

●●● 個人情報保護に対する基本方針 ●●●

社会福祉法人十字の園は、利用者等の個人情報を適切に取り扱うことは、介護サービスに携わるものの重大な責務と考えます。

法人が保有する利用者等の個人情報に関し適正かつ適切な取り扱いに努力するとともに、広く社会からの信頼を得るために、自主的なルール及び体制を確立し、個人情報保護法及び関係法令、厚生労働省ガイドラインを遵守し、個人情報の保護を図ることを、ここに宣言します。

記

1. 個人情報の適切な取得、管理、利用等

- ①個人情報の取得にあたり、利用目的を明示した上で必要な範囲の情報を取得し利用目的を通知又は公表し、その範囲内で利用します。
- ②個人情報の取得・利用・第三者提供にあたり、本人の同意を得ることとします。
- ③当法人が委託をする医療・介護関係事業者は、業務の委託にあたり、個人情報保護法と厚生労働省ガイドラインの趣旨を理解し、それに沿った対応を行う事業者を選定し、かつ個人情報に係わる契約を締結した上で情報提供し、委託先への適切な監督をします。

2. 個人情報の安全性確保の措置

- ①法人は、個人情報保護の取り組みを全役職員等に周知徹底させるために、個人情報保護に関する規則類を整備し、必要な教育を継続的に行ないます。
- ②個人情報への不正アクセス、個人情報の漏洩、滅失又は毀損の予防及び是正のため、法人内において規則類を整備し安全対策に努めます。

3. 個人情報の開示・訂正・更新・利用停止・削除等への対応

法人は、本人が自己の個人情報について、開示・訂正・更新・利用停止・削除等の申し出がある場合には、速やかに対応します。これらを希望される場合には、個人情報相談窓口までお問い合わせください。

4. 苦情の処理

法人は、個人情報取り扱いに関する苦情に対し、適切かつ迅速な処理に努めます。

●●● 個人情報保護の利用目的 ●●●

介護老人福祉施設等施設サービス事業及び居宅サービス事業では、利用者の尊厳を守り安全管理に配慮する個人情報保護方針の下、ここに利用目的を特定します。あらかじめ利用者本人の同意を得ないで、必要な範囲を超えて個人情報を取り扱うことはいたしません。

【利用者へのサービス提供に必要な利用目的】

1. 介護老人福祉施設内部での利用目的

- ①当施設が利用者等に提供するサービス
- ②介護保険事務
- ③介護サービスの利用にかかる当施設の管理運営業務のうち次のもの
入退所等の管理、会計・経理、事故等の報告、当該利用者の介護・医療サービスの向上

2. 他の介護事業者等への情報提供を伴う利用目的

- ①当施設が利用者等に提供する介護サービスのうち
利用者に居宅サービスを提供する他の居宅サービス事業者や居宅介護支援事業者等との連携・照会への回答、その他の業務委託、利用者の診療等にあたり外部の医師の意見・助言を求める場合、家族等への心身の状況説明
- ②介護保険事務のうち
保険事務の委託（一部委託を含む）、審査支払機関へのレセプトの提出、審査支払機関又は保険者からの照会への回答
- ③損害賠償保険などに係る保険会社等への相談又は届出等

【上記以外の利用目的】

1. 当施設内部での利用に係る利用目的

- ①当施設の管理運営業務のうち次のもの
介護サービスや業務の維持改善の基礎資料、当施設において行なわれる学生等の実習への協力、当施設において行なわれる事例研究

2. 他の事業者等への情報提供に係る利用目的

- ①当施設の管理運営業務のうち
外部監査機関、評価機関への情報提供

2005年4月1日 社会福祉法人 十字の園
理事長 平井 章

最高レベルを目指して

社会福祉法人 十字の園 理事
聖隷学園 理事長 長谷川了



聖隷クリストファー大学では1992年に1号館を作り、聖隷クリストファー看護大学を開設することができました。その時に第一次10ヶ年計画を作りました。

大学院看護学研究科の開設、社会福祉学部の開設と2号館の建設、2004年度には大学院社会福祉学研究科、リハビリテーション学部の開設と3号館の建設が実現しました。大学院リハビリテーション科学研究科の開設が確実に、第一次10ヶ年計画はすべて実現できました。2008年度には、教育研究の最高レベルをめざして、大学院博士後期過程の設置をすることを願っています。

リクルート社は昨年、大学ブランドのランキングを発表しました。本学は名古屋を中心とした東海ブロックで知名度、興味度、志望度の3部門すべてでランキング入りしました。社会的評価が与えられていることが証明されました。

聖隷クリストファー大学は次の2つの目標を持って経営しています。

第一は、静岡県保健福祉医療のレベルの向上に大きく貢献することです。短期大学が35年間、看護師養成をして浜松にある聖隷の2病院に卒業生を送りだしてきました。聖隷2病院の看護は社会から大変高い評価を受けています。そのことによって静岡県西部の看護のレベルを押し上げ、この地域の患者さんは大きな恩恵を受けているように考えます。看護も福祉、リハビリテーションの分野もクリストファー大学、大学院で高度な専門職者を送り出すことによって障害者、高齢者、患者さん達の幸せに貢献することです。第二は、アメリカなど世界の先進国と同じレベルの、保健福祉医療の専門職者養成の教育と研究を行うことです。将来アメリカの大学と共同研究などができるためにも、大学院博士課程を設置する必要があります。十字の園が高齢者福祉の常に最高レベルを目指して、事業を前進させることを願っています。

『平和の杜』誕生

社会福祉法人 十字の園
伊東市立養護老人ホーム(平和の杜) 施設長 森 茂廣

『伊東市立養護老人ホーム』は伊東市の市街地から南へ約7km、閑静な美しい湖、一碧湖の近くにあります。37年前、開設された歴史ある施設ですが、この度、伊東市より、指定を受けて、社会福祉法人十字の園が運営を引き継ぎました。

再出発にあたり、「入居者の皆様のホームでの日々の暮らしが、なごやかで、のびやかな共同生活となりますように！」との祈りを籠めて、『平和の杜』という愛称をつけさせていただきました。『平和の杜』のキーワードは、①個別性！ ②主体性！ ③社会性！です。いずれも「自分らしさ」を多面的に表現したものです。

運営目標は、まず、適切なサービスの継続を基本としつつ、変革すべきことは、勇気を持って実践すること。そして、健全な経営に心がけ、未来を展望できるようにすることです。

早速、食事と入浴については「ゆっくり、のんびり、楽しんで」を合言葉に変革に挑戦しています。まず、夕食時間が5時から6時になり、普通の暮らしに一步近づいたように思えます。日中の活動時間にも余裕ができたようです。また、入浴日も増え、夕食後の入浴も実現し、さらに一步前進です。次なる課題は、居心地のよいアメニティ空間を創ること。そして、魅力あるアクティビティを生み出すことです。

最後に残る課題は、おそらくストレスフルな2人部屋の解消となると思います。入居者の皆さんの悩みの8割はこの課題に関連しています。『平和の杜』の将来を展望するための1つのテーマであるといえます。6月3日、第3回目の懇談会で『平和の杜』という愛称は、入居者の皆さんから盛大な拍手で指示をいただきました。大いなる一步です。



2004 (平成16) 年度事業並びに決算報告

2004年度は、介護保険制度見直しの年に当たり、2005年度における改訂並びに2006年度以降の改訂内容が法案提出の中で明らかにされてきました。社会福祉を取り巻く情勢の変化を受け経営面では、法人の各事業決算に影響が出ていますが、決算では、運営の効率化、在宅事業の拡大などの努力により、減益の幅を縮小することができました。

1. 役員会 理事会5回・評議員会 5回開催
2. 監事監査 決算監査及び業務監査 3回実施
3. 運営会議 施設運営の推移と連携 5回開催
4. 法人研修会 法人大会及び職種毎に 11回開催
5. 施設運営 浜松、御殿場、伊豆高原、松崎の指定介護老人福祉施設並びに身体障害者療護施設及びアドナイ館、御殿場アドナイ館のケアハウス事業など順調に運営できました。

社会福祉法人会計 貸借対照表 (単位：千円)

資産の部		負債の部	
流動資産	844,456	流動負債	152,407
現金預金	385,750	未払金	43,752
未収金	345,614	預り金	4,255
立替金	2,625	前受金	400
仮払金	6,467	他会計区分借入金	104,000
他会計区分貸付金	104,000		
固定資産	4,115,111	固定負債	1,140,261
基本財産	3,722,921	設備資金借入金	977,453
土地	486,300	長期運営資金借入金	12,350
建物	3,236,621	退職給付引当金	126,464
その他の固定資産	392,190		23,994
		負債の部合計	1,292,668
		純資産の部	
土地建物	131,126	基本金	870,123
建物	2,290	国庫補助金等特別積立金	2,165,427
構築物	2,660	その他の積立金	128,000
運搬具	23,904	次期繰越活動差額	503,349
車輜	75,341	(うち当期活動収支差額)	139,386
器具及び備品	2,625		
建設仮勘定	2,250	純財産の部合計	3,666,899
積立預金	128,000	負債・純財産の部合計	4,959,567
その他の固定資産	23,994		
資産の部合計	4,959,567		

公益事業会計 貸借対照表 (単位：千円)

資産の部		負債の部	
流動資産	24,509	流動負債	1,112
現金預金	19,504	未払金	1,112
未収金	4,570	固定負債	928
立替金	435	引当金	928
		負債の部合計	2,040
		純資産の部	
固定資産	5,565	基本金	5,073
器具及び備品	2,372	次期繰越活動差額	22,961
その他の固定資産	3,193	(うち当期活動収支差額)	165
		純財産の部合計	28,034
資産の部合計	30,074	負債・純財産の部合計	30,074

財産目録

I 資産の部		合計	868,965,201	円
1. 流動資産		合計	350,252,967	円
普通預金	静岡銀行 他		55,000,000	円
定期預金	静岡銀行		350,184,330	円
未収金	(介護報酬 他)		2,625,034	円
立替金			435,494	円
貯蔵品	(棚卸残高)		6,467,376	円
仮払金			104,000,000	円
他会計区分貸付金			4,120,677,130	円
2. 固定資産		合計	3,722,921,738	円
(1)基本財産		合計	3,236,621,312	円
建物	(8棟 21,753.55㎡)		486,300,426	円
土地	(20筆 25,182.77㎡)		397,755,392	円
(2)その他の固定資産		合計	2,290,273	円
建物	(倉庫・物置)		131,126,000	円
構築物	(門扉・陸橋等)		2,659,754	円
運搬具			23,904,268	円
器具及び備品			77,712,918	円
権	(松崎温泉利用権)		2,250,000	円
建設仮勘定	(空調整備設計)		2,625,000	円
積立預金			128,000,000	円
その他の固定資産	(退職共済積立金)		23,994,264	円
その他の固定資産	(診療所)		3,192,915	円
	資産の部 合計		4,989,642,331	円
II 負債の部		合計	153,519,939	円
1. 流動負債		合計	44,864,914	円
未払金	(業者支払い 他)		4,255,025	円
預り金	(所得税 他)		400,000	円
前受金			104,000,000	円
他会計区分借入金			1,141,188,730	円
2. 固定負債		合計	934,615,000	円
設備資金借入金	独立行政法人福祉医療機構 5口		42,837,890	円
設備資金借入金	静岡県社会福祉協議会 5口		12,350,000	円
長期運営資金借入金	独立行政法人福祉医療機構		23,994,264	円
退職給付引当金	静岡県退職共済		126,464,000	円
長期預り金	ケアハウス入居一括徴収金		927,576	円
減価償却引当金			927,576	円
	負債の部 合計		1,294,708,669	円
	差引純資産		3,694,933,662	円

事業活動収支差額 (単位：千円)

勘定科目	決算額
介護保険収入	2,293,796
国庫補助金等特別積立金取崩額	139,416
介護報酬査定減	△ 8,651
事業活動収入計	2,424,561
人件費	1,560,061
経費	558,584
(直接介護費)	338,907
(一般管理費)	219,677
利用者負担減免額	3,383
減価償却費	210,208
引当金繰入	4,624
事業活動支出計	2,336,860
借入金利息補助金収入	7,315
受取利息配当金収入	12
寄附金収入	13,625
雑収入	27,441
事業活動外収入計	48,393
借入金利息	17,812
雑損	9,287
事業活動外支出計	27,099
経常収支差額	108,995
特別収入	39,937
施設整備等補助金収入	2,991
固定資産受贈額	275
国庫補助金等特別積立金取崩額	36,298
他会計区分繰入金収入	21,301
会計区分外繰入金収入	180
その他の特別収入	96,982
特別収入計	0
基本金組入額	29,970
国庫補助金等特別積立金繰入額	323
固定資産除売却損	36,298
他会計区分繰入金支出	0
会計区分外繰入金支出	0
その他の特別支出	66,591
特別支出計	30,391
特別支差額	139,386
当期活動収支差額	491,963
前期繰越活動収支差額	128,000
積立金積立額	503,349
次期繰越活動収支差額	

公益事業活動収支差額 (単位：千円)

勘定科目	決算額
診療収入	32,499
診療外収入	1,448
雑収入	4,064
事業活動収入合計	38,011
事務費支出	5,963
診療支出	10,582
繰入金支出	21,301
事業活動支出合計	37,846
当期活動収支差額	165
前期繰越活動収支差額	22,796
次期繰越活動収支差額	22,961

浜松十字の園及び御殿場十字の園に併設する診療所事業が、公益事業会計に計上されています。財産目録には、社会福祉事業及び公益事業が合算され法人全体の合算合計として決算されています。

各施設からの事業報告

浜松十字の園

施設長 平井 章

(H16 年度報告)

ユニットケアによるサービス提供が充実し、その人らしさが実現してきました。また、サテライトデイ母の家を創設し、普通の生活体験に向けた取り組みを行ないました。職員住宅を改修しての逆デイも、新年度に入ってから本格的に運営しています。パブリックスペースの喫茶室も、日常生活の一部となっています。また浜名湖花博には、多くの利用者が観覧に行かれました。当年度の大きな事業として計画した隣地わかば保育園跡地の取得を行ない、新たな施設整備の計画に着手しました。

(H17 年度計画)

空調設備全面改修工事の実施、居室壁面の漆喰壁による改修工事を実施します。また、H18 年度施設整備事業計画を推進します。

御殿場十字の園

施設長 上野貢一

御殿場十字の園の聖書のみ言葉「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」を掲げ、基幹施設を中心に、地域を支える信頼される福祉サービス事業に取り組みました。

- 4月 ガイドヘルパー事業開始
サービス基準指針に基づく自己評価実施
たかねサテライトデイ、広報誌創刊
- 7月 御殿場アドナイ館、ログハウス完成
- 8月 ショート、ワンユニット化で運営
- 9月 2級ヘルパー養成事業1期24名修了
- 11月 ホームページ完成
- 12月 御殿場デイ、年末年始(365日)営業
- 2月 市町村に向けて逆デイ実践発表
- 3月 三厨先生を招き「接遇研修」実施
事故防止マニュアルが完成

伊豆高原十字の園

施設長 青木克文

サービス提供の基準指針の改定を進めると共に自己評価を行い、理解を深め常に意識することで、サービスの向上につなげることができました。特に、入浴、排泄などの委員会で個々のニーズに合わせて再検討がなされ、個別処遇も改善されました。

また、全体連絡会により部署間の情報の共有・連携が良好になり、ケアプランの充実にも繋がりました。各種委員会や部署ごとの勉強会の充実を図り、東海地震の発生に備えた防災、危機管理などのマニュアルの整備も進めています。

各種の在宅サービスも利用者やご家族のニーズに沿ったサービスに努め、成果をあげています。



アドナイ館

施設長 宮岸孝一

(H16 年度報告) 毎朝8時30分キリスト教の精神を基本とし、近隣教会の牧師・諸先生の奉仕による礼拝が始まる。「惜しむ心からではなく、強いられてでもなく、自ら決めたとおりにすべきである」の聖句に心を留めて支援に心掛けました。

1. 国及び地方財政の厳しい実情の中、補助金制度の財源を有効に活用するため、施設内環境整備等の修繕・工事費に重点を置き事業に取り組みました。
2. サービス基準指針の見直し及び危機管理マニュアルの追加整備に取り組みました。
3. デイサービスの平均稼働率は82%と、前年度と概ね変化はありませんでした。
4. 調理関係では食事の提供内容に工夫をし、夕食時に主菜の選択制や鍋物等のレパートリーを広げ、喜ばれています。

松崎十字の園・オリブ

施設長 三條洋二

3年目を迎え、松崎十字の園らしさが出てくる年でありたいと考えていました。そのために、毎朝の礼拝を通してキリスト教の教えを聴く中、法人の理念の大切さが少しずつではありますが、職員に伝わってきた感があります。そのために礼拝の労を執って下さっています松崎教会の方々には、感謝をいたします。

利用者生活については、ユニットの細分化(高齢者)や障害に応じた生活圏に分けること(オリブ)を通じて、きめ細かいサービスを試みました。細分化することで利用者一人ひとりに応じた配慮をすることができてきましたが、職員配置数の見直しの中で細分化や日中における活動メニューの検討、実施についての課題が残りました。

各施設のトピックス



不思議な香りに包まれて

伊豆高原 十字の園 杉本 昌子

アメリカンジャズミンで有名な下田の了仙寺に、「生け花サークル」のメンバーで行って来ました。前日までの天候とはうって変わっての行楽日和。久しぶりのおでかけに入居者は朝からドキドキ、ワクワク、ソワソワ。

先生もご一緒に、5月の眩い日差しの中、オリーブ号に揺られて約1時間。到着した了仙寺は、青から白に変わるアメリカンジャズミンの花でいっぱい。あたり一帯が不思議な香りに包まれ、一同満喫。お昼には地魚料理に舌鼓を打ち、楽しい一日を過ごしました。

「生け花サークル」は3年前に日野先生をお迎えして始まり、最初は自然を大いに生かした？ 作品も、最近はみな腕に磨きをかけ、洗練されてきました。このツアーで、ゆかいな日野先生との親睦もさらに深まり、来月のおけいこが待ち遠しくてなりません。



限りある資源を大切に！

松崎 十字の園 山本 隆弘

家庭電化製品や自動車のリサイクル法がスタートし、資源の有効利用が話題になっています。

松崎十字の園でも、地球と利用者とお財布(?)に優しい環境作りの一環として、廃品を利用した家具が増えてきました。ほんの一例を紹介しますと、①椅子の背もたれを入浴用補助椅子へ取り付けて、安定した座位を保つことができる補助椅子(写真左)、②2階在住の車椅子利用の方が階段ホールへ入らないために、ベッド柵をつなげて台を作り、そこへプランターのような重い物を置いて固定した、見た目にも違和感のない通行止めの柵(写真中)、③古いベッドの下回りを加工し、畳を敷いた可動式のちょっとした畳コーナー(写真右)。

ニーズがある限り新製品が登場します。松崎へおいでの際は、ぜひご覧下さい。



空調整備工事施工中！

浜松 十字の園 鈴木 郁三

浜松十字の園では、20数年頑張ってきた冷暖房設備が老朽化したため、その交換工事が始まりました。ボイラー、居室の送風機を全て取り替え、一括管理されていた冷暖房を各フロアごとに温度管理できるようになります。一口に取り替え工事といっても、生活している方々がいる中で行われるわけですから大変です。そして、何よりも利用者の皆様に工事期間中は場所の移動をしていただきご不自由をおかけしますが、今まで以上に暑い夏、寒い冬を快適に過ごしていただけたと思います。でも、居心地が良くなったからといってお部屋にばかりいないで、皆で集まって楽しく思い出話に花を咲かせましょう。

追伸 この機関紙がお手元に届くころには、新しいエアコンが稼働していることでしょう。

各施設のトピックス



🏠 私達のログハウス『悠々』

御殿場 アドナイ館 田内 博夫

平成16年7月にログハウスがオープンいたしました。入居者から愛称を募集したところ、「マホロバハウス」「フリートークハウス」「和みの家」「やすらぎ荘」などが上がり、施設長の選考の結果、『悠々』に決定いたしました。テーブルは、ホームセンターでサイズをカットして組み立てました。イス、カーテンも準備いたしました。園芸クラブの皆さんがログハウスの周りにモントブレッチア（あやめ科）を移植し、また、ログハウス入り口の踏み台を作成、窓には大きく開けられるようにストッパーの取り付けや、入り口ドアの調整等をして下さいました。

オープンして1年近く経った現在の利用状況は、大正琴練習、俳句作り、読書、トランプゲーム等です。今年の2月には、7回20数名の方が利用しました。窓を1ヶ所増やしたことで、寒中の2月でも天気の良い日には、東から、南から、日差しが差し込み、暖房機を使用しなくてもよく、気楽に、喜んで利用していただいています。これから夏場に向かって、エアコンを取り付けてあるので、涼しく過ごすことができるでしょう。



✈ セントレアを見てきました

アドナイ館 三輪真理子



6月6日、アドナイ館入居者の日帰り旅行で、セントレアに行ってきました。セントレアとは、2月に開港したばかりの中部国際空港のことです。愛知県常滑市にある海の上に浮かぶ空港です。

日本で初めての空港でのお風呂や展望デッキを楽しみ、様々なレストラン街で自由に昼食をとりました。

午後は常滑焼きを見学し、オレンジパークで初物のメロン狩り・10種類のフルーツバイキング食べ放題で、季節の味をおなかいっぱい満喫しました。



『平和の杜』の住人達と共に

伊東市立養護老人ホーム 古川 善也

伊東市立養護老人ホーム（平和の杜）の朝は、入居者の方々が掃除をされる光景から始まります。玄関付近をほうきで掃き、水うちをしているSさん、雑巾を持って、手すりや窓を拭くNさん、ゴミを袋に詰めて、ごみ置き場へ運んで下さるOさんの姿が目に入ります。その他、お一人おひとりが、ご自分にできることを自主的に担って下さっているのがよくわかります。

先日、伸びすぎた樹の枝を切って下さるYさん、それをまとめて紐で縛るSさん、リヤカーに積んで、ごみ置き場に運ぶOさんの自然発生的な連携と丁寧な仕事振りを目にし、感服しました。



もちろん、『平和の杜』の50名の入居者の中には、生活上の介護や見守り、声かけを必要とされる方もいらっしゃいます。職員は、皆さんが安心して生活できるよう、掃除、洗濯、食事、買い物、お風呂など、生活を共にしながら、まさに一家の主婦のような役割を担っているようです。

『平和の杜』は、年齢、経験、健康状態、体力、お人柄、それぞれ異なる入居者と職員約70名の共同生活といえます。限られたスペースの中、見えないお一人おひとりの忍耐に支えられているのかもしれませんが、廊下や集会室などでの助け合い、いたわりあう姿には、『平和の杜』の希望を感じます。

2005（平成17）年度 新規採用者

4月1日の辞令交付式で十字の園に
新しい仲間が加わりました。

- ☆浜松十字の園：8名
（介護士） 冨永成徳・森口摩美・藤田絵美・小林ひとみ・河合彩乃・民谷陽子・後藤速人・野末芳美
- ☆御殿場十字の園：10名
（介護士） 飯山愛理・山田大輔・鈴木久実・渡邊秀美・勝又美佳・山中明美・鈴木卓・長嶋友美子・高木直也（看護師）池谷みつ江
- ☆伊豆高原十字の園：5名
（介護士） 壘和之・菊池歩（調理師） 齊藤佐智子（看護師） 石橋華子・栗山由香



- ☆アドナイ館：1名（介護士）三木義史
 - ☆松崎十字の園：1名（事務員）鈴木敏江
 - ☆伊東市立養護老人ホーム：11名
（介護士） 後藤久美・石田晋吾・鶴見圭秀・石井まさみ
（相談員） 森むつ子・池田憲文
（調理師） 石川章・山下敏幸・森野美代子
（看護師） 遠藤靖子（事務員）古川善也
- 計 36 名（辞令交付式には 20 名が出席しました）

去年度も多くの皆様から、こころ温まるご支援とご寄付を賜り、誠にありがとうございました。皆様方から寄せられたご寄付は、より良い施設づくりのための施設整備及び備品購入にあてさせていただきます。今後とも、福祉共生社会の成熟に貢献しつつ、皆様の声に適切に応える施設として活動する十字の園へのご支援をよろしくお願

温かいご支援ありがとう

います。

法人本部	14件	86,960円
浜松十字の園	98件	4,402,288円
御殿場十字の園	209件	2,880,768円
伊豆高原十字の園	77件	2,755,896円
松崎十字の園/オリブ	20件	469,000円
アドナイ館	198件	3,017,161円
御殿場アドナイ館	1件	13,159円
合計	617件	13,652,232円

皆様の暖かい御支援をお待ちしております!!

〒431-1304 静岡県浜松市細江町中川 7220-11

社会福祉法人 十字の園

理事長 平井章

銀行振替 静岡銀行細江支店 普通 0015345

送迎支援車頂きました

昨年度、松崎十字の園では日本財団様より福祉車輛助成事業を受け、送迎支援車輛の軽自動車を導入しました。ショートステイの送迎に利用しており、車椅子のまま乗降、移動ができ、大変喜ばれております。また、伊豆高原十字の園でも中央競馬馬主社会福祉財団様より助成を受け、送迎支援車輛を導入しました。



デイサービスの送迎に活躍しております。両財団をはじめ関係各位に謹んで感謝の意を表します。

〈あとかぎ〉

御殿場の職員駐車場の花壇には、この夏も向日葵の花が咲く予定です。職員の方が好意で苗を植え始めて下さった去年は、背丈が伸びすぎて雨風の被害に遭い、それでも支えの棒に括り付けたりして綺麗な黄色い花びらを保ち、利用者はもちろん、職員の日も楽しませてくれました。

東京は竹橋の『ゴッホ展』で見た絵のように、輝くような向日葵の黄色には、夏の空の青色がよく似合います。あのコントラストに今年もまた出会える日が、近づいています。（竹）